



2026年

## 二葉幼稚園 園のたより

3月



## 3月の聖句

主が一步一步を備えて下さる

箴言16章9節

## 3月のさんびか

きゅうこんのなかには

こどもさんびか 改訂版135

## 希望をもってよろこびあう

1月のある日、正門から園庭を覗いているお子さまと3人の方々がいらっしゃいました。お声掛けすると1960年代に卒園されたおばあちゃんが最近亡くなり、そのご主人と娘さんお二人とお孫さんがおばあちゃんが生前果たせなかった「思い出巡り」に来られたのでした。愛知県からお見えになったというので保育室や礼拝堂をご案内しようとした時、不思議なことが起こったのです！5歳のお孫さんにも記念にといつもの望遠鏡と虫かごを渡していざ園内探検！中階段で「ミ〜ンミ〜ン おや？」とおどけると壁に貼られたセミに飛びつくお孫さん。「え？」と顔を見合わせ驚かれた娘さん(お母さん)達。一瞬くしゃりと表情が崩れ、ハラハラとお二人の頬をつたう涙。「きっと母がここにいます！…あるんですね…こんなこと…実はこの子は虫が大好きで、しかも保育園でこの子のマークがセミ！偶然とは思えない。きっと母がここにいるんだと思います。慰められました。」と。鳥肌が立ちました。保育室や礼拝堂では「素敵！」と連呼。古い卒園児名簿でおばあちゃんのお名前をご一緒に確認。満足気に帰られたのでした。

乳幼児期の体験は深いところに沁み込みます。私達もそうであったように、子ども達は毎日新しい刺激を受け、大量の情報を処理していきます。すべての記憶を持ち続けることは難しく、生きていく上で苦境に立たされた時、孤独を感じる時、幸せを感じる時、ふと何かしらのきっかけで、すっかり忘れていた幼少期の記憶や体験が立ち昇ってくる場合があります。

先日の発表会で子ども達がそれぞれ歌った曲の歌詞やメロディーが、子ども達やご家族の応援歌の一つになれば嬉しく思います。私は小学校時代に聴いたP.サイモン & A.ガーファンクルが歌う「明日に架ける橋 Bridge Over Troubled Water/1970」(皆様のご両親↑世代？名曲です！)

ご存知ない方は是非検索を！)がずっと心の奥底にあって支えられてきました。子ども達がありのままの姿でお互いを受け入れ合い、育ち合う姿を見る度に、先生達が子ども達を慈しみ、葛藤を抱えながら懸命に向き合う姿を見る度に、この曲が、歌詞が、頭をもたげるのです。(以下引用)

♪ When you're weary, feelin' small.  
When tears are in your eyes,  
I'll dry them all  
I'm on your side, when times get rough  
And friends just can't be found.  
Like a bridge over troubled water  
I will lay me down.  
Like a bridge over troubled water  
I will lay me down.

君が疲れ果てて、情けない気分になって  
その目が涙で濡れていたら  
僕がすっかり拭ってあげる  
辛い時、友達がいない時も  
僕は君のそばにいる  
荒波の中に架かる橋のように  
僕がこの身を横たえる  
荒波の中に架かる橋のように  
僕がこの身を横たえる(邦訳/関谷直人)

【引用：信徒の友/日本キリスト教団出版局/2008年9月号P45】

どうか二葉幼稚園を離れても、「神さまが一人ひとりの傍にいて、その一步一步を備え、ともに歩んでくださる」ことを覚えて心にとめて頂ければ、と思います。子ども達がいつの時代にも希望をもって歩めるよう、友達と、ご家族とよろこびあう時、その中心には神さまがいらっしゃることを願わずにはおられません。長い方では10年以上、短い方では数ヶ月、二葉に愛情をそそいでくださってありがとうございました。子ども達が育てている球根のように、いつの日かそれぞれの時に、それぞれの場所で、唯一の花が咲き、その人にしかない賜物が実り、輝きをはなちますように！【園長】